

「福島第一原子力発電所沖合における海底土の放射性物質の核種分析の結果について
(続報6)」(平成23年7月29日発表)

誤

(別紙)

海底土中の Am, Cm 分析結果

1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取地点	採取日 分析機関	Pu-238*1 [<1.1×10 ⁻²]	Pu-239*1 Pu-240*1 ×10 ⁻¹	U-234*2 ×10 ⁰	U-235*2 ×10 ⁻¹	U-238*2 ×10 ⁰	Am-241 ×10 ⁻¹	Cm-242 [<1.4×10 ⁻²]	Cm-243 Cm-244 [<1.3×10 ⁻²]
①小高区沖合 3km	6月2日 日本分析 センター	N.D.	(4.3±0.27) ×10 ⁻¹	(4.7±0.30) ×10 ⁰	(1.9±0.50) ×10 ⁻¹	(4.5±0.29) ×10 ⁰	(1.4±0.15) ×10 ⁻¹	N.D.	N.D.
②岩沢海岸沖合 3km		N.D.	(4.5±0.29) ×10 ⁻¹	(6.4±0.42) ×10 ⁰	(3.8±0.90) ×10 ⁻¹	(6.7±0.43) ×10 ⁰	(1.4±0.15) ×10 ⁻¹	N.D.	N.D.
1~3号機における平均核種濃度比(Pu-238を1とした 場合の比)*3		1	—	—	—	—	0.1	10	1

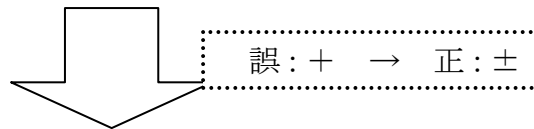
*1:平成23年6月23日公表 *2:平成23年7月7日公表 *3:ORIGENコードによる計算値(概数)

2. 評価

今回検出されたAmは、以下の理由により、今回の事故に由来するとは判断できない。

- ・検出されたPu-239+Pu-240は、福島第一および福島第二付近の海域における過去(平成11年度~平成20年度)の測定値の範囲内であること
- ・検出されたU-234、U-235及びU-238は、天然に存在するものと同じレベルと評価されること
- ・自然界に存在しない核種であるCm-242、Cm-243及びCm-244は、検出されていないこと

以上



正

(別紙)

海底土中の Am, Cm 分析結果

1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取地点	採取日 分析機関	Pu-238*1 [<1.1×10 ⁻²]	Pu-239*1 Pu-240*1 ×10 ⁻¹	U-234*2 ×10 ⁰	U-235*2 ×10 ⁻¹	U-238*2 ×10 ⁰	Am-241 ×10 ⁻¹	Cm-242 [<1.4×10 ⁻²]	Cm-243 Cm-244 [<1.3×10 ⁻²]
①小高区沖合 3km	6月2日 日本分析 センター	N.D.	(4.3±0.27) ×10 ⁻¹	(4.7±0.30) ×10 ⁰	(1.9±0.50) ×10 ⁻¹	(4.5±0.29) ×10 ⁰	(1.4±0.15) ×10 ⁻¹	N.D.	N.D.
②岩沢海岸沖合 3km		N.D.	(4.5±0.29) ×10 ⁻¹	(6.4±0.42) ×10 ⁰	(3.8±0.90) ×10 ⁻¹	(6.7±0.43) ×10 ⁰	(1.4±0.15) ×10 ⁻¹	N.D.	N.D.
1~3号機における平均核種濃度比(Pu-238を1とした 場合の比)*3		1	—	—	—	—	0.1	10	1

*1:平成23年6月23日公表 *2:平成23年7月7日公表 *3:ORIGENコードによる計算値(概数)

2. 評価

今回検出されたAmは、以下の理由により、今回の事故に由来するとは判断できない。

- ・検出されたPu-239+Pu-240は、福島第一および福島第二付近の海域における過去(平成11年度~平成20年度)の測定値の範囲内であること
- ・検出されたU-234、U-235及びU-238は、天然に存在するものと同じレベルと評価されること
- ・自然界に存在しない核種であるCm-242、Cm-243及びCm-244は、検出されていないこと

以上

海底土中の Am, Cm 分析結果

1. 測定結果

(単位 : Bq/kg・乾土)

採取地点	採取日 分析機関	Pu-238*1	Pu-239*1 Pu-240*1	U-234*2	U-235*2	U-238*2	Am-241	Cm-242	Cm-243 Cm-244
①小高区沖合 3km	6月2日 日本分析 センター	N. D. [<1.1×10 ⁻²]	(4.3±0.27) ×10 ⁻¹	(4.7±0.30) ×10 ⁰	(1.9±0.50) ×10 ⁻¹	(4.5±0.29) ×10 ⁰	(1.4±0.15) ×10 ⁻¹	N. D. [<1.4×10 ⁻²]	N. D. [<1.3×10 ⁻²]
②岩沢海岸沖合 3km		N. D. [<1.3×10 ⁻²]	(4.5±0.29) ×10 ⁻¹	(6.4±0.42) ×10 ⁰	(3.8±0.90) ×10 ⁻¹	(6.7±0.43) ×10 ⁰	(1.4±0.15) ×10 ⁻¹	N. D. [<1.5×10 ⁻²]	N. D. [<1.5×10 ⁻²]
1~3号機における平均核種濃度比(Pu-238を1とした 場合の比)*3		1	—	—	—	—	0.1	10	1

*1 : 平成23年6月23日公表 *2 : 平成23年7月7日公表 *3 : ORIGENコードによる計算値(概数)

2. 評価

今回検出されたAmは、以下の理由により、今回の事故に由来するとは判断できない。

- ・検出されたPu-239+Pu-240は、福島第一および福島第二付近の海域における過去(平成11年度~平成20年度)の測定値の範囲内であること
- ・検出されたU-234、U-235及びU-238は、天然に存在するものと同じレベルと評価されること
- ・自然界に存在しない核種であるCm-242、Cm-243及びCm-244は、検出されていないこと

以上